

第11号事業

日産スタジアムESCO事業最優秀提案を選定!!

～ 光熱水費等 約4,700万円/年の削減を実現～

横浜市第11号事業として公募した日産スタジアム ESCO 事業で、事業者からの提案を「横浜市 ESCO 事業提案審査委員会」において厳正に審査の結果、**最優秀提案事業者を選定**しました。

事業者

最優秀提案事業者としては、**株式会社 山武**（ビルディングオートメーション業ほか）
・**杉山管工設備 株式会社**（管工事業）の2社からなるグループを選定しました。

提案内容

多岐にわたる省エネルギー技術を導入することにより、高い省エネルギー率の実現や大幅な二酸化炭素排出量の削減を図ります。

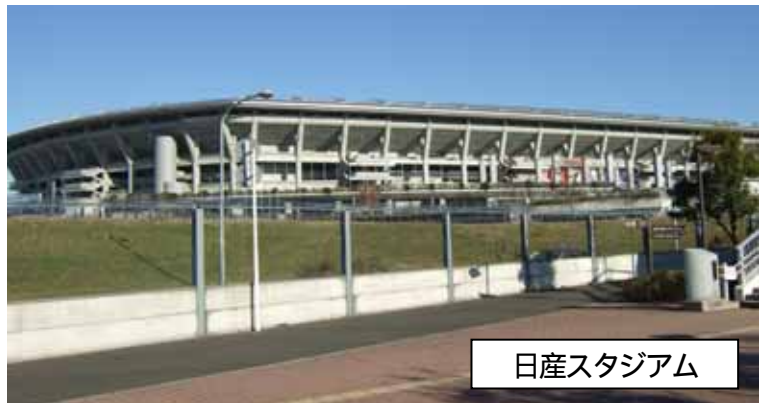
削減効果は、「省エネルギー率」が22.1%、「CO₂排出削減率」が22.9%となり、1年間の削減量は、一般家庭約600世帯分の年間使用エネルギー量、杉の木約9万本分の年間CO₂吸収量に相当します。

「光熱水費等削減額」は約4,700万円/年と、現在消費している年間の光熱水費等約2億8,400万円の約17%を削減する提案となっています。

主な改修内容

- ・ 熱源システムの高効率化
（高効率型熱源機器の導入）
- ・ 空調機・給排気ファンの
インバータ制御
- ・ 空調機のCO₂制御
- ・ 高効率給湯ヒートポンプの導入
- ・ 照明器具の高効率化
- ・ LED誘導灯の採用
- ・ 節水器具導入ほか

全体で11項目以上の多岐にわたる省エネルギー対策を行います。



日産スタジアム

審査経過

今回の事業者公募では、1企業グループから応募があり、事前公表した審査基準に基づいて、外部委員により、それぞれの専門的な観点から、公正かつ客観的に評価し、総合的な審査をしました。

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会委員

	氏 名	職 名
委員長	よしだ さとし 吉田 聡	国立大学法人 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授
委員 (職務代理者)	いわふね ゆみこ 岩船 由美子	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 エネルギー工学連携研究センター 講師
委員	さえくさ やすお 三枝 康雄	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 部長
	ふかがた こうじ 深潟 康二	慶應義塾大学理工学部 機械工学科 専任講師
	よねやま たかし 米山 亨志	日産自動車 株式会社横浜工場 工務部工務課 課長

施設概要

日産スタジアム

- ・所在地：横浜市港北区小机3300
- ・敷地面積：165,721m² (新横浜公園全体)
- ・建築構造：プレキャストプレストレス
コンクリート造、地上7階
屋根 S造
- ・延床面積：171,186m²
- ・建物しゅん工年：1997年

選定経過と今後のスケジュール(予定)

- ・公募：H21.4.6～4.27(参加表明)
- ・審査委員会：3回開催
- ・事業者選定：H21.8
- ・本契約：H22.8
- ・工事完了：H23.3
- ・ESCO サービス開始：H23.4～

ESCO 事業とは (Energy Service Company の略称です。)

既存施設の設備改修において、省エネルギー化と維持管理費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保障する事業です。

